

蚊媒介感染症 患者発生状況

デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症の届出患者数の推移

	全国			兵庫県		
	デング熱	チクングニア熱	ジカウイルス感染症	デング熱	チクングニア熱	ジカウイルス感染症
平成17年	74	—	—	1	—	—
平成18年	58	—	—	1	—	—
平成19年	89	—	—	6	—	—
平成20年	104	—	—	1	—	—
平成21年	93	—	—	3	—	—
平成22年	244	—	—	13	—	—
平成23年	113	10	—	4	0	—
平成24年	221	10	—	8	0	—
平成25年	249	14	2 (※1)	9	1	—
平成26年	341	6	1 (※1)	7	0	—
平成27年	292	17	0 (※1)	9	1	—
平成28年	342	14	12	16	0	0
平成29年	245	5	5	7	0	1
平成30年	201	4	0	7	0	0
令和元年(※2)	451	46	3	13	2	0

(注) チクングニア熱は平成23年2月1日から、ジカウイルス感染症は平成28年2月15日から4類感染症に追加された。

(※1) 国立感染症研究所作成のIASRで公表された数である。

(※2) 令和元年12月15日(50週)までの全国値と兵庫県値の速報値である。

全国におけるジカウイルス感染症の届出状況(4類感染症指定後:平成28年2月15日～)

報告年月日	居住地	年齢	性別	滞在国	症状	蚊の刺咬歴	患者の状態	
平成28年 (2016年)	2.25	神奈川県	10歳代	男性	ブラジル	発疹、発熱	不明	安定
	3.11	愛知県	30歳代	女性	ブラジル	全身の発疹、発熱、関節痛	あり	安定
	3.22	神奈川県	不明	女性	ブラジル	発疹、関節痛	あり	安定
	3.24	愛知県	40歳代	女性	中南米(ブラジル以外)	発疹、発熱、関節痛、眼の充血	あり	安定
	4.22	千葉県	10歳代	男性	オセアニア太平洋諸島	発疹、発熱	あり	安定
	5.23	神奈川県	20歳代	女性	中南米(ブラジル以外)	発疹、発熱	あり	安定
	6.10	大阪府	30歳代	男性	中南米(ブラジル以外)	発疹	不明	安定
	9.12	ベトナム	40歳代	女性	ベトナム在住	発疹、頭痛、結膜炎、関節痛	あり	安定
	9.26	東京都	30歳代	男性	中南米(ブラジル以外)	発疹、発熱、結膜充血、筋肉痛、頭痛	あり	安定
平成29年 (2017年)	詳細不明(公表なし)							
	11.15	兵庫県	30歳代	女性	フィリピン(マニラ)	発疹、発熱、頭痛、関節痛、結膜充血	不明	安定
平成30年	届出なし							
令和元年 (2019年)	詳細不明(公表なし)							
	10.31	静岡県	30歳代	女性	タイ(バンコク、アユタヤ)	発疹、頭痛	不明	安定
	詳細不明(公表なし)							

兵庫県におけるデング熱の届出状況

報告年月日	保健所	年齢	性別	滞在国	症状	
1	2.19	尼崎市	30歳代	男性	タイ (バンコク、プーケット島)	発熱、全身の筋肉痛、骨関節痛、白血球減少
2	3.18	神戸市	20歳代	男性	タイ	発熱、頭痛、発疹、血小板減少、白血球減少
3	4.08	加古川	40歳代	男性	インドネシア	発疹、白血球減少
4	4.22	神戸市	30歳代	女性	インドネシア	発熱、頭痛、全身の筋肉痛、発疹、
5	7.18	加古川	30歳代	女性	インドネシア(バリ島)	発熱、頭痛、全身の筋肉痛、骨関節痛、発疹、血小板減少、白血球減少
6	8.01	尼崎市	20歳代	女性	ベトナム(ハノイ)	発熱、頭痛、全身の筋肉痛、発疹
7	8.05	西宮市	70歳代	女性	カンボジア	発熱、頭痛、骨関節痛、発疹、血小板減少、白血球減少
8	8.17	神戸市	10歳代	男性	カンボジア(シェムリアップ)	発熱、頭痛、骨関節痛
9	9.29	尼崎市	30歳代	男性	ベトナム(ハノイ)	発熱、頭痛、骨関節痛、発疹、血小板減少、白血球減少
10	9.30	尼崎市	20歳代	女性	ベトナム(ハノイ)	発熱、頭痛、全身の筋肉痛、発疹、血小板減少、白血球減少
11	10.29	丹波	40歳代	男性	フィリピン(マニラ)	発疹、白血球減少
12	11.05	神戸市	20歳代	女性	ベトナム	発熱、全身の筋肉痛、発疹、血小板減少、白血球減少、出血
13	12.06	加古川	40歳代	男性	ベトナム(ホーチミン)	発熱、発疹、血小板減少、白血球減少

「兵庫県蚊媒介感染症対策方針」の概要

本方針は、「蚊媒介感染症に関する特定予防指針」(平成27年4月28日付け厚生労働省告示第260号)及び「デング熱・チクングニア熱等蚊媒介感染症の対応・対策の手引き(地方公共団体向け)」(平成27年4月28日(平成28年2月12日改定)付け国立感染症研究所作成。)に基づき、平成28年3月31日付けで兵庫県における平常時並びに県内患者発生時の対策についての方針を策定した。

1 基本的な方針

発生段階ごと取るべき対応を想定し、平常時から県内発生時における関係機関の役割を示す。

平常時	輸入感染症例、県外で国内感染症例が発生
県内発生時	県内で国内感染症例が発生

2 発生段階別の関係機関の役割

表1 関係機関の発生段階別役割

関係機関 \ 段階	平常時 (輸入感染症例の発生)	県内発生時
県 疾病対策課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報提供、注意喚起 ・ 発生動向調査 ・ 定点モニタリング ・ 人材育成 ・ 専門家会議等 ・ (一社)兵庫県ペストコントロール協会との協定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注意喚起 ・ 発生動向調査 ・ 推定感染地域における蚊の防除等の相談応需 ・ (一社)兵庫県ペストコントロール協会等との連絡調整(委託(※)) ・ 県内発生時、推定感染地の公表(県と市町と同時)
健康福祉事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報提供、注意喚起 ・ 体制整備 ・ 行政検査 ・ 輸入症例への積極的疫学調査、患者等への指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的疫学調査の実施 ・ 住民からの相談対応 ・ 行政検査 ・ 注意喚起 ・ 推定感染地における市町や施設管理者と連携した成虫蚊の密度調査 ・ 推定感染地における蚊の防除等の指示(※)
県立健康生活科学研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政検査 ・ 定点モニタリングで捕集した蚊の種別の分布や増減の観測 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政検査 ・ 定点モニタリングで捕集した蚊の種別の分布や増減の観測
医療機関	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療(検査) ・ 届出 ・ 患者指導 ・ 積極的疫学調査への協力 ・ 検体の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療(検査) ・ 届出 ・ 患者指導 ・ 積極的疫学調査への協力 ・ 検体の提供
市町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報提供、注意喚起 ・ 体制整備 ・ 発生時対応の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注意喚起 ・ 推定感染地域における蚊の防除等の実施((一社)兵庫県ペストコントロール協会等に委託可)(※) ・ 住民からの相談対応 ・ 推定感染地の公表(県と市町と同時)
施設等の管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定点モニタリングへの協力 ・ 幼虫等発生源対策 ・ 発生時対応の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発生源対策の強化 ・ 発生時の対応強化 ・ 推定感染地域における蚊の防除等の実施(兵庫県ペストコントロール協会等に委託可)(※)
(一社)兵庫県ペストコントロール協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蚊の防除等の相談応需 ・ 蚊対策の知識普及 ・ 県との協定 ・ 人材育成への協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体制の強化、準備 ・ 推定感染地域における蚊の密度調査及び防除等の実施(県・市町から受託)(※)

※県外で患者が発生した場合でも、推定感染地が県内にある場合は、積極的疫学調査を実施のうえ、推定感染地における蚊の防除等を実施する。